

Cocomi フルート

3歳からヴァイオリン、そして11歳にフルートを始める。グラディーミル・アシュケナージ、エマニュエル・パウのマスタークラスを修了。これまでに、ヤマノジュニアフルートコンクール優秀賞3回、最優秀賞1回並びに特別賞受賞。2019年には、日本奏楽コンクールで最高位を受賞。管楽器部門第1位とともにフランス近代音楽賞受賞。2021年1月、東京フィルハーモニー交響楽団の「ニューイヤーコンサート2021」にソリストとして出演。同年、京都の西本願寺で無観客で収録された「音舞台」への出演も果たす。2022年4月デビュー・アルバム『de l' amour』をリリース。12月に東京・紀尾井ホールで行われたデビュー・リサイタルを成功裡に終える。2023年2月には、ニューヨークのラジオシティ・ミュージックホールで開催されたピアニスト、ラン・ランのコンサートにゲスト出演。公演での世界デビューを果たす。同年3月、桐朋学園大学音楽学部 カレッジ・ディプロマ・コースを修了。10月、ヴァイオリニスト、デイヴィッド・ギャレットの来日公演にゲスト出演。11月には2nd アルバム『Mélancolie』をリリースし、東京・紀尾井ホールで自身2度目となるリサイタルを開催。2024年10月には、3rd アルバム『Neos』をリリースし、12月に東京・紀尾井ホールと大阪・住友生命いずみホールでリサイタルを開催。現在同大学ソリストディプロマコースに在籍中。フルートを泉真由氏、NHK交響楽団首席フルート奏者である神田寛明氏に師事している。

Gateway Solisten by Member of NHK Symphony orchestra, Tokyo N響メンバーによる「ゲートウェイ・ゾリステン」

2021年新型コロナウイルス感染症の影響によりコンサートの中止が相次ぎエンタメ業界の先行きが見えない中、音楽と人との中継役でありたいと、高輪ゲートウェイ駅を最寄駅とするNHK交響楽団に所属するメンバーによって演奏形態に捉われないユニットを結成。ゲートウェイ (Gateway) は英語で入口を意味し、通信手段の異なる両者の中継する機器そのものを指すインターネット単語。また、ゾリステン (Solisten) はソリストからなる集団を意味する。アンバサダーに三井ゆりを迎え、21年12月紀尾井ホールで第1回デビューコンサート（ゲスト：ヴァイオリン奏者：廣津留すみれ、ミュージカル・ソー < のこぎり > 奏者：サキタハチメ）。その後も22年2月銀座ヤマハホールでクローズドコンサート、第2回演奏会は王子ホールで～The future of young players～として注目のピアニスト佐藤文音、第3回演奏会は白寿ホールで同年11月白寿ホールで新進フルート奏者：Cocomi、ミュージカル・ソー奏者：サキタハチメ、その後、23年8月には札幌コンサートホールKitaraをはじめとする北海道ツアーから、九州ツアーまでこれまでに全国各地で20カ所以上で開催。ヴォーカリスト・野口五郎と東京・八芳園でのショーやクラシックホールの東京オペラシティコンサートホール（2日間）など、幅広いジャンルのアーティストと共演を重ねている。

三井 ゆり Ambassador・MC

TBS系「関口宏のフレンズパーク」のアシスタントでお茶の間の人気に。NHK教育テレビ「サイエンス・アイ」では司会で活躍。1994年TBS系「スーパーサッカー」ではタレント・スポーツキャスターとして注目を集める。自動車のA級ライセンスや、サッカーの3級審判員の資格を取得するなどスポーツ万能な一面も。「お嫁さんにしたいタレントNo.1」に輝いたこともあり、2001年に歌手の野口五郎と結婚、栄養士の免許をもち二児の母として家庭を支える。旅番組をはじめバラエティ番組出演の他、コンサートやイベントの司会など多方面で活躍している。

宮川 奈々 ヴァイオリン

5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学を卒業。桐朋オーケストラアカデミーを修了。第63回全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部第3位。第80・81回日本音楽コンクール入選。平成25年度公益財団法人青山財団奨学金事業対象者。2013年PMFオーケストラアカデミーに参加。大学内でのソリストオーディションに合格、沼尻竜典氏指揮・桐朋学園大学オーケストラと共演。サントリーホール室内楽アカデミー第4・5期フェロー。これまでに松本尚三、板垣登喜雄、篠崎永育、堀正文、景山誠治の各氏に師事。2016年よりNHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。

後藤 康 ヴァイオリン

桐朋学園大学卒。第63回全日本学生音楽コンクール中学校の部北九州大会第1位。第66、68回全日本学生音楽コンクール高校の部北九州大会第1位。第68回同コンクール高校の部全国大会横浜市民賞。第14回ヴェニアフスキ・リピンスキ国際ヴァイオリンコンクール第3位。第3回ガダニーニコンクール第3位。第13回別府アルゲリッチ音楽祭、第20回記念別府アルゲリッチ音楽祭に出演。これまでに、篠崎永育氏、川瀬麻由美氏、辰巳明子氏に師事。NHK交響楽団団員。

正田 響子 ヴィオラ

神奈川県横浜市出身。桐朋女子高等学校（男女共学）を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。18歳よりヴィオラの指導を受ける。2013年ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第1位、翌14年にザルツブルクのミラベル宮殿にて演奏。ARKフィル、青森青い海と森の音楽祭、宮崎国際音楽祭などの日本各地の音楽祭に参加のほか、室内楽など様々な分野に活動の幅を広げている。大学在学時にオーディションを受け、2017年より読売日本交響楽団ヴィオラ奏者。ヴィオラを佐々木亮氏に師事。

藤村 俊介 チェロ

桐朋学園大学音楽学部卒業。チェロを安田謙一郎氏に師事。日本演奏連盟賞受賞。第58回日本音楽コンクールチェロ部門第2位。1989年NHK交響楽団に入団。1993年アフィニス文化財団の研修員としてドイツに留学し、メロス・カルテットのペーター・ブック氏に師事。これまでに4枚のソロアルバム「バラ色の光り輝く雲が、ゆったりと流れ」「カサド：無伴奏チェロ組曲」「ダアンツァ・エスパニョーラ」「ハパネラ」及び、N響ヴァイオリン奏者大宮臨太郎とのデュオ・アルバム「パッサカリア」、師匠の安田謙一郎との2枚のアルバム「デュオ・チェロ」「レゾナンス」をリリースしているほか、チェロ四重奏のラ・クアルティエーナとして、10枚のアルバムをリリースしている。現在NHK交響楽団の次席奏者、ラ・クアルティエーナのメンバーを務める他、フェリス学院大学非常勤講師、桐朋学園大学非常勤講師、洗足学園大学客員教授として後進の指導に当たるなど、ソロ、室内楽、オーケストラと多彩に活躍している。

サキタハチメ

作曲家/ミュージカル・ソー（のこぎり）奏者/サウンドアーティスト

作曲家、ミュージカル・ソー（のこぎり）奏者、サウンドアーティスト。作曲家として、NHK連続テレビ小説「おちよやん」、NHKEテレ「シャキーン!」、日本テレビ「妖怪人間ベム」等ドラマ・CM・映画・ミュージカル等の音楽を多数作曲。国内外で精力的にコンサート活動を展開。アメリカのミュージカルソーコンテストで2度優勝。4枚のアルバムをリリース。N響メンバーによるゲートウェイ・ゾリステン（室内楽アンサンブル）と全国ツアー中。サウンドアーティストとして「奥河内音絵巻」「山を鳴らす」「地球オルガン」「鈴虫とミュージカル・ソー」「森のパイプオルガン」「パチカンと高野山を音で繋ぐ」など、既存の音楽の枠やジャンルを超えた規模・発想での作品を創作し展開、各地の芸術祭にも参加。和歌山県白浜「ハッピー・パンダ30th」で新体験イベント参画。「大阪関西万博2025」で大阪ヘルスケアパビリオン、シャインハットなどでプロデュース事業を展開。平成16年大阪市「咲くやこの花賞」、平成23年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。「森のパイプオルガン実験演奏会」が内閣府・クールジャパンプラットフォームアワードCJPF2024ムービー部門「大阪・関西万博特別賞」受賞。

吉田 秀 コントラバス

1986年東京芸術大学音楽学部卒業。芸大フィルハーモニア首席奏者を経て1991年NHK交響楽団に入団。現在首席奏者を務める。室内楽の分野ではオーギュスタン・デュメイ、ピンカス・ズッカーマン、ライナー・キューヒル、ギドン・クレメル、マリア・ジョアン・ピリス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、マルタ・アルゲリッチ、ゲルハルト・オピッツ、カルミナ弦楽四重奏団、ベルリンフィルピアノ四重奏団、ターリッヒ弦楽四重奏団、メロス弦楽四重奏団、ライプツィヒ弦楽四重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、モザイクカルテットなどと共演。また東京シンフォニエッタ、いずみシンフォニエッタ大阪、紀尾井ホール室内管弦楽団、鎌倉ゾリステンなどのメンバーとしても活動。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭などに参加。東京芸術大学教授、東京音楽大学特任教授、相愛大学客員教授、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

和久井 仁 オーボエ

東京芸術大学卒業後、東京佼成ウインドオーケストラに入団しオーボエ奏者とアシスタントコンサートマスターを務めた。2001年4月からは愛知県立芸術大学音楽学部の専任講師として勤務した後、2004年4月にNHK交響楽団へ入団し、オーボエ & イングリッシュホルン奏者を務めている。現在、東京芸術大学・桐朋音楽大学オーケストラアカデミーの非常勤講師。東京三鷹フィルハーモニアのメンバーも兼任。

日高 剛 ホルン

宮崎県出身。長崎大学経済学部卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院でホルンを学ぶ。E. ベンツェル、W. サンダース、守山光三、山田真、田原泰徳の各氏に師事。2000年広島交響楽団入団、その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を13年まで歴任。オーケストラのみならず、ソロや室内楽、音楽と美術のコラボレーション、アウトリーチ活動、長崎県地域ブランディング推進委員では特に五島における文化芸術事業の企画運営にも意欲的に取り組む。また国内外でワークショップを行い後進の育成にも力を注ぎ、第43回国際ホルン協会シンポジウム（アメリカ）、The International Hornweek（オランダ）、シベリウス音楽院（フィンランド）、嘉義市（台湾）でリサイタルやマスタークラスを開催。霧島国際音楽祭、木曾音楽祭、北九州国際音楽祭等にも参加。13年より東京芸術大学准教授。国立音楽大学・昭和音楽大学・相愛大学各講師、名古屋音楽大学客員教授、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、新日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者。ホルンアンサンブル「つの笛集団」、THE HORN QUARTET、木管五重奏 Wind Fiveメンバー。日本ホルン協会常任理事。長崎県地域ブランディング推進委員。CD多数。